

防災・BCPアップデート講座（6）

非常時優先業務の選定②



【講師略歴】

BB.univ 学長 WOTA株式会社 防災・BCP担当室長 森 健

- ・ 1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
- ・ 静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向（現：危機管理部）を含め、約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
- ・ 自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社においてグローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
- ・ 2019年9月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。
- ・ 2020年9月よりBB.univ学長に就任。
- ・ 2021年4月よりWOTA株式会社防災・BCP担当室長に着任。

BCPの高度化・レベルアップ

～非常時優先業務の整理方法を中心に～

1. 非常時優先業務整理の前に
2. 部局内優先順位と全庁的優先順位
3. 職員の参集想定との関係性
4. 大規模災害をイメージした整理の視点

1. 非常時優先業務の整理の前に①

➤現在の業務管理体制を次の視点で確認する必要がある。

1) 各職場の業務分掌表は正確か？

(行政組織規則上の所管業務、
実際に運用・担当している各課の業務、
毎年度更新される業務分掌表の
3者の整合性はとれているか？)

1. 非常時優先業務の整理の前に②

➤現在の業務管理体制を次の視点で確認する必要がある。

2) 業務分掌表の**主担当・副担当の関係**

は機能しているか？（副担当は、主担当のバックアップができる態勢か？
重要業務のマニュアル作成は？
事務引継ぎは機能しているか？）

1. 非常時優先業務の整理の前に③

➤現在の業務管理体制を次の視点で確認する必要がある。

3) 職員の「異動履歴」を整理しているか？

(災害時には全庁的に、部局横断的な職員の相互応援が必要になる。その際には、実務経験の有無に関する情報は非常に役に立つ)

2. 部局内優先順位と全庁的優先順位

～全庁的（戦略的）視点を忘れない～

部局内の
優先順位

総務部

優先度【高】

優先度【低】

建設部

優先度【高】

優先度【低】

健康福祉部

優先度【高】

優先度【低】

総務部

優先度【高】

優先度【低】

建設部

優先度【高】

優先度【低】

健康福祉部

優先度【高】

優先度【低】

全庁的な
優先順位



3. 職員の参集想定との関係性

参集時期	人数（想定）
～発災後 3 時間	総計 15 人
3 時間～ 12 時間	総計 40 人
12 時間～ 1 日	総計 45 人
1 日～	総計 50 人

優先度【高】	優先度【中】	優先度【低】
必要人数	必要人数	必要人数



- 職員参集想定と業務別必要人数の比較
- 参集割合別の対応範囲（例：全職員の1割が参集した場合の対応範囲）の視点

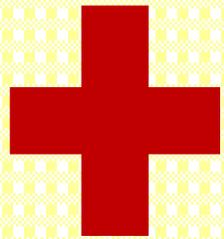
4. 大規模災害をイメージした整理の視点

自団体の
対応戦略

災害発生
(発災)

初動対応
(応急対策)

通常体制移行
(復旧・復興)



大規模災害時の
戦略オプション

関係団体と調整、支援要請、受援計画発動、日々の要員管理

支援要請
(要請・調整)

応援受入
(調整・指揮)

要員管理
(交替調整)

非常時優先業務に関するまとめ

日々の組織管理・業務管理の点検強化

全庁的な視点・戦略

大規模災害への備え



臨機応変の対策本部活動
(指揮命令、組織運用、危機管理のセンス)

内容の無断転載を固く禁じます

ご清聴頂きありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた方に、本日の資料を配布しております。
今後の情報発信に役立てるためにも、ぜひご協力ください。

